

# ライフキャリア通信

静岡県立中央特別支援学校

第3号

令和5年3月8日 発行

本校HP QRコード



裏面にて各学部より進路に関する情報を掲載しております。そちらも併せて御覧ください。なお、他学部のライフキャリア通信は本校ホームページより閲覧できるようになっています。

## 今更聞けない！？ 現場実習のそもそも



実習先は学校が決めるの？

いいえ。卒業後に描いている「豊かな(自分に合う)生活」に向けて、本人と保護者の思いと各自の見学を受け、学校と相談しながら事業所の協力を確認して決めました。



大変だな～。なんで実習をやるの？

進路先を決めるためでもあるけど、一定期間(高1は最長5日間)、卒業後の生活をする(働く、暮らす、余暇について)ことで、成果や課題に本人・保護者・学校が気付き、今後の学校生活や家庭生活の目標を設定するため。実習はきっかけなんだよ。



高等部1年生の生徒たちは、どんなことを目標にしたの？

1年生は、「(卒業後の生活像を)知る」をキーワードにしたよ。

主な目標は…

- ・周りの人からの言葉がけに自分なりの方法で応じる。挨拶をする。
- ・自分の好きな仕事や活動を見つける(経験する機会にする)。
- ・丁寧に、正確に作業をする。自分から報告、連絡、相談する。



へえ～。でもありきたりってというか、小中学部でもやっていることだよな。

そうだね。小中学部の児童生徒が今取り組んでいることは、将来にもつながっているんだよ。『いつでも・どこでも・誰とでもできる』を目指して頑張ったんだ。あと学校に比べて事業所は職員さんが少ないから、人以外の支援(手順表、環境の設定等)が求められることもあるよ。だから、同じできた姿でも、より少ない支援でできたことには価値はあるんだ。



人に手伝ってもらって当たり前だと思っていたよ。

ただ、「全部自分でやりなさい」という意味ではないよ。どこまで自分でやり、どこから依頼するのか(相手は受けてもらえるのか)のバランスは、描いている「豊か(自分に合う)生活」次第なんだ。相手側に過度な負担を与えない変更や調整を求めることは、「合理的配慮」と呼ばれているよ。



十人十色の生き方だ。遠い話ではなく、今が未来につながっているんだね。

# きらり☆みらいへ ～小学部の進路学習～

今回のキャリア通信では、第1号で取り上げた『人との関わり』について児童の一年間の取組と成長を紹介します。今年度、『視線を合わせる』『体を動かして反応する』など人と関わる上で大切な力を身に付けることができました。進級すると新しい先生や友達との出会いが待っています。今年度、身に付けた力を学校、御家庭などの身近な社会で発揮し、更に伸ばしていきましょう。

## 【個々との関わり】



視線を合わせて食事をしています。



一緒に活動に取り組んでいます。

## 「人との関わり」を意識した活動場面



## 【先輩と後輩の関わり】



6年生に「ありがとう」の気持ちを伝えています。

## 【同じ学年の友だちとの関わり】

「生活の授業では、「自分から」友達を助けにきました。タッチ！」



借り物競争では、カードを見せて「一緒に行こう。」と誘うことができました。

## 【集団活動での関わり】

学部集会で司会や係を務め、リーダーとして「責任感」をもって「自分の役割」に取り組みました。



\* 「人との関わり」中央特別支援学校『進路指導のおさえ』より

## 【新規事業所情報】

最近、全国的に e-スポーツと福祉を組み合わせた事業所が出来てきています。主に就労継続支援 B 型や A 型事業所です。静岡県内にも開所した事業所がありましたので、お知らせします。

NPO 法人結び家 就労継続支援 A・B 型事業所 MUSUBIYA

住所：藤枝市高洲 473-1

開所日：月～金・祝 10:00～16:00

仕事内容：軽作業、PC を使った作業、動画編集、

デジタルアート、e-スポーツイベント等



e-スポーツをきっかけに社会とつながる機会や仕事をする機会を作りたいとの趣旨で開所した事業所です。e-スポーツを楽しみつつ、軽作業等の仕事に従事するイメージです。(e-スポーツで賞金を稼ぐといった仕事ではありません。ゲームやパソコンが苦手な方も利用されています。) 電車を使って静岡市から通所されている方もいるそうです。新しい分野で未知数な部分も多いですが、SNS 等で情報発信をしている所も多いので、関心のある方は調べてみてください。

# 中学部 ☆望む未来へつながる一步☆

◎「進路指導」と聞くと、高等部卒業後の遠い未来を想像し、出口が見えない不安を感じることも多いことでしょう。中学部段階では具体的な将来の目標が定まっていないので当然とも言えます。本校の進路指導の3本柱「はたらくこと」「くらすこと」「たのしむこと」で、お子さんにとっての幸せで豊かな生活・将来を想像してみましょう。

高等部、高等学校  
での学習につな  
がるしっかりと  
した土台づくり

実習で見え  
てくる出口  
=具体的な  
目標

【はたらくこと】日中の活動場所がある  
【くらすこと】健康に、豊かに、望む形で生活する  
【たのしむこと】一人で、または誰かと楽しめる「好き」や「得意」がある

## 中学部……►高等部……►将来…(人生の大半は学校卒業後の将来)……►……►……►……►

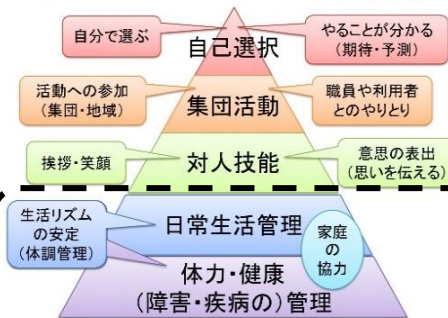
◎中学・高等部の職員研修での内容を御家庭と共有したいと思います。中学部から高等部への学習や指導のつながりを「進路」の視点で見ると、朝の会や作業学習、生活単元学習など様々な学習の中に、将来の進路選択、進路決定に関わるものが再確認できました。

高等部での実習の様子 の例	中学部の学習や生活場面での取り組み 目標の例	家庭で取り組めそうなことの例
○プラモデルの袋詰 ができた	・作業学習 正確さ、丁寧さ、持続力、手順 や指示を聞いて取り組む、働 く楽しさや喜びを知る	・普段から様々なものに触れて自分でや ってみる。やろうとする気持ちをもつ。 例) 衣服や靴の着脱、ボタンをとめる、家 の手伝い
×気持ちを伝えられ なかった	・生活単元学習 好きを見つける、表現する、自分の 伝え方を獲得する、伝わる喜びを知 る ・朝の会 あいさつや返事、発表	・家庭や学校意外の場所で、様々な人との 関わりをもつ。進路先の人とともに楽し めるように好きを増やす。 ・学校ではできない体験や経験の機会を もつ。

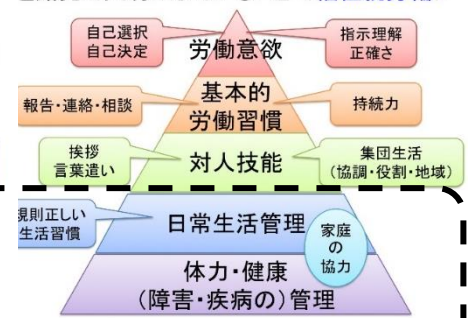
中学部3年間は、自分に合った進路決定の力を養う基礎・基盤となります。年度末面談で、一年の成長や課題の確認ができたでしょうか。成長は望む将来につながる確かな一歩です。そしてお子さんや御家庭が望む将来の生活に必要なことが、卒業までに身につけたい課題です。これらは全て右図のピラミッドの上部分をにあり、「体力・健康」「規則正しい日常生活」が土台になっています。

次の学年に向けて、将来を想像しながら、しっかりと安定した土台づくりを継続していきましょう。

進路先で大切にしていること<生活介護編>



進路先で大切にしていること<福祉就労編>



## 「シンデレラ」のその後を…

タイトルの『シンデレラ』のその後を…は、先日ある特例子会社の代表取締役の方からいただいた言葉です。「様々な苦勞や困難、障害の中で夢や希望を見つけ、魔法使いのおばあさんや周囲の動物たちの力を借りて、王子様と結婚する。」というシンデレラの物語は、例えるなら、進路先が決まるまでのお話です。物語では王子様と結婚して「めでたし、めでたし」ですが、その後シンデレラはどうなったのでしょうか？王子様とは仲良くやれているのでしょうか？王室のしきたりにはなじめたのでしょうか？王室の公務はきちんと行えているのでしょうか？国民には愛されているのでしょうか？…そんなシンデレラのアフターストーリーも思い描いてほしいというメッセージでした。進路先を決めることはゴールではありません。むしろ、そこから先の人生の方が長いかもしれません。企業に就職することや福祉事業所の通所先が決まることは大切ですが、卒業後の生活を意識することの大切さを再認識しました。



## 「あなたの子供をあなた(親)の職場で戦力として雇えますか??」

続いてのこちらタイトルは、障害者の雇用に関する講演会の中でいただいた言葉です。「卒業後は一般就労(障害者雇用)したい・させたい」そんな願いを持っている方もいると思います。その願いに間違いはありませんが、一度タイトルの言葉「あなたの子供をあなた(親)の職場で戦力として雇えますか??」という問いについて考えてみてください。例えば、「将来はパソコンを使った仕事がしたい」という方は、親御さんの職場で本人に「パソコンを使った仕事」を任せられるでしょうか??また仕事に関するスキルももちろんですが「そもそも、うちの職場で雇うにはトイレが自立していないと…」「自分で通勤ができないと…」「体力や集中力が…」と、課題が見えてくるのであれば、それは他の企業でも同じことが課題となります。スキル面も生活面も含めて課題が解決できてはじめて一般就労の可能性が出てきます。合理的配慮にも限界はあります。そのことを学校も本人・保護者もよく考えて進路指導を進めてほしいというお話でした。願いの実現にむけても、課題の把握は非常に重要です。ぜひ一度考えてみてください。